⑲　Ｌ－アスコルビン酸カルシウム

ア　製造用原体

(ｱ)　成分規格

含量～強熱残分　（略）

定量法　本品約0.2ｇを0.001ｇの桁まで量り、その数値を記録し、メタリン酸溶液（１→50）50mLを加えて溶かし、0.05mol／Ｌヨウ素溶液で滴定する（指示薬　デンプン試液１mL）。

0.05mol／Ｌヨウ素溶液１mL＝10.66mg$C_{12}H_{14}CaO_{12}$・２H_2O

(ｲ)　（略）

イ・ウ　（略）

⑳～㉓　（略）

㉔　アセチルシステイン

ア　製造用原体

(ｱ)　成分規格

含量　本品は、定量するとき、換算した乾燥物に対し、アセチルシステイン（$C_5H_9NO_3S$）98.0～102.0％を含む。

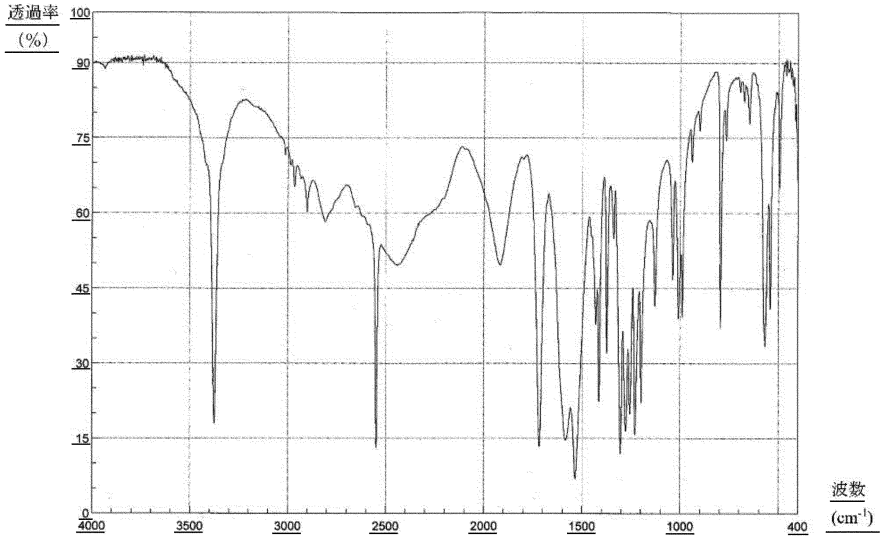
物理的・化学的性質

①　本品は、白色の結晶又は結晶性の粉末である。

②　本品の水溶液（１→100）のpHは、2.0～2.8である。

確認試験　本品につき、赤外吸収スペクトル測定法の臭化カリウム錠剤法により試験を行い、本品のスペクトルと本品の参照スペクトルを比較するとき、両者のスペクトルは、同一波数のところに同様の強度の吸収を認める。

本品の参照スペクトル



⑲　Ｌ－アスコルビン酸カルシウム

ア　製造用原体

(ｱ)　成分規格

含量～強熱残分　（略）

定量法　本品約0.2ｇを0.001ｇの桁まで量り、その数値を記録し、メタリン酸溶液（１→50）50mLを加えて溶かし、0.1mol／Ｌヨウ素溶液で滴定する（指示薬　デンプン試液１mL）。

0.1mol／Ｌヨウ素溶液１mL＝10.66mg$C_{12}H_{14}CaO_{12}$・２H_2O

(ｲ)　（略）

イ・ウ　（略）

⑳～㉓　（略）

（新設）